

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成26年 1月 8日 更新

事務事業名		合志市環境フェスタ運営事務事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2 緑豊かな環境と共生するまちづくり				所属部	総務部	課長名	財津 公正
	施策	8 廃棄物の抑制とリサイクルの推進				所属課	環境衛生課	担当者名	小畑 英之
	基本事業	20 ごみの発生抑制				所属班	環境衛生班	(内線)	1142
予算科目		会計一般	款 4	項 2	目 1	事業連番 11486	法令根拠	合志市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 24年度で終了 <input type="checkbox"/> 24年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		
								成果優先度評価結果	: ②
								コスト削減優先度評価結果	: ①

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	市民がライフスタイルの見直しを考え、地球温暖化防止、ごみ減量やリサイクルの推進を図り、循環型社会の実現を目指す目的で、平成15年度から菊池環境保全組合の構成団体(合志市、菊池市、大津町、菊陽町、環境保全組合)で開催してきたが、平成21年度より各自治体単位で開催することとなった。参加者に、環境保全・地球温暖化防止・リサイクルの推進・ごみ減量化に向けた取り組みを周知して行く。平成24年度からは、環境団体を組織する実行協議会を設置し、市民と協働によりイベント作りを行った。
【業務の流れ】	環境フェスタの計画・運営(会場等の手配、協力団体との出展内容打合せ、広報・周知、会場設営及び撤収、フェスタ開催、支払い事務、実施報告)
【主な予算費目】	職員手当、需用費、役務費(切手代)、委託料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	参加者から、環境フェスタを楽しみにしている、毎回参加しているといった意見がある。また、毎年継続して実施して欲しいとの意見がありました。他の行事と共催することで参加者を増やせるとの意見があった。環境団体からは、あまり経費はかけなくても継続的に開催して欲しいとの意見がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分: 25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
① 手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)	地球温暖化防止やごみ減量化を啓発するため環境フェスタの計画・運営を行った。平成24年度は、環境フェスタを単独で行った。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 時間 → イ 環境フェスタ運営事務の執行時間 予算の主な増減の理由 前年度は補正予算で環境フェスタを開催したが、本年度も継続開催の要望理由による会場設営委託料等の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民 ② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) → ア 人口 人 → イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	環境保全・地球温暖化防止・リサイクルの推進・ごみ減量化を図り、結果的にはごみを減らしてもらう ③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) → ア 環境フェスタ参加者数 人 → イ ごみの量 t
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠	
環境フェスタには多くの市民に参加してもらい、環境保全・地球温暖化防止・リサイクルの推進・ごみ減量化を図ることが重要であり、成果指標を「環境フェスタ参加者数」、「ごみの量」とした。目標値は参加者数については、平成23年度開催の実績を考慮し「2,000人」、ごみの量については、ごみ減量化計画に基づき「11,089t」と設定した。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	22年度 実績(決算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	26年度 予定	27年度 見込	28年度 見込
① 活動指標	ア	時間	1,010	1,023	350	696	1,000	1,000	1,000	1,000
	イ									
② 対象指標	ア	人	55,828	56,638	56,222	57,367	57,377	57,925	58,747	59,024
	イ									
③ 成果指標	ア	人	2,000	2,000	0	500	2,000	2,000	2,000	2,000
	イ	t	12,660	12,946	11,616	13,332	11,089	10,551	10,000	9,500
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	338	1,466		886	897	900	900	900
	(A) 事業費計	千円	338	1,466	0	886	897	900	900	900
(A)のうち指定経費	千円	0	27	0	35	40	40	40	40	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	27	0	35	40	40	40	40
人件費	正規職員従事人数	人	8	8	8	7	8	8	8	8
	延べ業務時間	時間	1,010	1,023	350	696	1,000	1,000	1,000	1,000
(B) 人件費計	千円	4,194	4,130	1,413	2,833	4,038	4,038	4,038	4,038	
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,532	5,596	1,413	3,719	4,935	4,938	4,938	4,938	

事務事業名	合志市環境フェスタ運営事務事業	所属部	総務部	所属課	環境衛生課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は24年度の後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 これまで一定の成果があったものとし、当初平成24年度は開催しない予定であったが、毎年開催の意見があり開催することとした。 平成25年度は、環境フェスタと菊地川の日と同日開催にする予定であるため、目標達成の見込みがある。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 市内の環境団体や事業所との連携により、成果向上の余地有り。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 他に環境に関する市のイベントがない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 環境団体や事業所には無償で協力いただいている。 集客を図り、環境問題に関し、市民の理解と認識を得るには、事業費の削減は困難である。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 会場設営や講演依頼などは委託する。 環境フェスタ実行協議会を組織し開催するが、主管課として事業の説明や、周知に関する事務事業、開催準備、開催当日の案内等、課員全員の出席が必要であり削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市民が対象であるので適正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 団体が協力できる分は、お願いしている。 環境問題は多岐にわたるので、行政が主導で行うべき事務と事業所や市民団体ができるものは区別して実施している。

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成24年度はサブメインアリーナでの環境団体による環境展示や活動実践教室等、単独で開催した。  
参加者：500人

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>環境フェスタ実行協議会を組織し、開催する。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						